

3月  
MARCH  
やよい

# 応報 なかつえ

2005年  
No.462

## 表彰状

千三百三十人の中津江村の皆様

明治二十二年に誕生した中津江村は清流と豊かな自然に育まれ鯛生金山のは盛や下筌ダム建設など激動の昭和を乗越えワールドカップサッカーという世紀のイベントで世界に名を馳せ笑顔の村として日本全国の人々の胸を熱くしてきました

この百十余年の歴史を支えてくださった村民の皆様のたゆまない努力と村づくりへの熱い想いは今後も新たな中津江村の基礎となるものです

平成十七年三月六日

大分県日田郡中津江村  
中津江村長 坂 本  
休



「日田郡中津江村」から

「日田市中津江村」へ

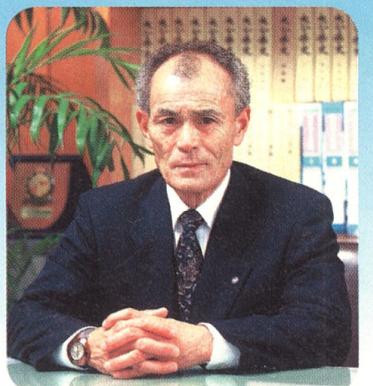
新たなスタート

### 中津江村の人口と世帯数 (2月末現在)

人口	1,325人	- 6
男	648人	- 3
女	677人	- 3
世帯数	500戸	- 3

# 日田市郡合併・ 広報なかつえ最終号発行にあたって

中津江村長 坂本 休



水温む陽気には、今しばらくではあります、皆様方はお変わりなく元気でご活躍のことを心よりお慶び申し上げます。

「広報なかつえ」も今回の発行をもって最終号となります。来月からは、「広報ひた」が皆様方のお手元にお届けされることとなります。永年、馴れ親しんできました広報なかつえは、村民皆様方のご愛読とともに村外の多くの方にも情報発信してきました。それぞれの任期の担当者が信頼と心を徹して、内容の価値と充実に取り組み、校正には皆様方からのご支援・ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。そして来月からの新しい広報ひたに期待していくところであります。

村民皆様方には、村の振興発展と豊かな村づくりに鋭意取組まれ、行政に対しましても格段のご支援・ご指導を賜りましたことに対しまして心

より感謝申し上げます。

省みると、好調な日本経済は一転して不況に陥り、村にいたっても木材・林業の不振とともに極めて苦しい立場の状況になりました。村民がお互いに協力し、一生懸命励まし合いながら頑張ってきました。そうした中で二十一世紀という新世紀に期待したところではなりますが、失われた十年から更に情勢は出口の見えない厳しい不況の中にあります。一方、村のみならず国においても少子高齢化が進むなか、殊に少子化は、国の将来に関わることであります。財政再建と言われる国債残高削減から端を発した三位一体の財政改革は、地方分権の推進とともに毎年の地方交付税削減で村財政の予算措置構成が組めなくなりました。中津江村も国が求めて推進する「平成の大合併」を時代の流れとして受け入れることとなりましたことに対しまして心

今は、残念で淋しく不安もあることでしょうが未来思考の観点からすると、早晚来るべきことを今ここに取組んだと思うしだいで、何れ誰かが行なわなければならない事を思うと、ワールドカップサッカーでのカメリーン共和国代表チームのキャンプ地となつたことで中津江村は、知名度や志の高い村民性が今の新時代構築のため時を得たと感じています。今後は、新市が協力・理解し新しい「日田市」を。より良く麗しい活気のある「日田市中津江村」の明日をみんなで築いていこうではありませんか。

村民の皆様、そして中津江村が郷土の皆様、村へエールを送ってくださった多くの皆様、本当にありがとうございました。ここに合併と広報なかつえの発行の結びにあたり、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ挨拶いたします。

# 中津江村閉村記念式典

「ありがとう中津江村、未来につながれ笑顔の輪 1,331人の卒業式」



三月六日(日)、B & G 体育館において中津江村閉村記念式典が行われました。

式典に先立つて行なわれたあじさいの植樹は、各所で雪が残る中、早朝より多くの住民の方が参加していただき無事、村内の各所に植樹することができました。

前日からの雪で会場の変更が県念されましたが、道路・天候の状況も時間が経つにつれ良くなり無事開催することができ、式典には、

中津江村の思い出・新市への思いと題し、小・中学校の生徒の代表が発表しました。小学校から瀬瀬雄哉君と川村波帆さん。中学校を代表して梶原美咲さんが思い出やこれからへの思いを発表を行い、小学校・中学校それぞれで寄せ書きした村旗を感謝状として村長へ贈呈しました。

式典の最後に、会場正面に掲げた村旗を降ろしました。

町村振興局長をはじめ、衛藤征十郎衆議院議員、井上伸史県議会議員、大石昭忠日田市長をはじめ、日田郡の各市町村長など多くの来賓と約五百人もの村民の方が出席していただきました。

会場では、村民の方や役場が保存していた懐かしい写真（村の行事や成人式など）や文集、広報などを展示し、自分の写真を見つめ、昔を思い出してました。また、ロビーでは、合併に伴う相談コーナー

会場では、村民の方や役場が保存していた懐かしい写真（村の行事や成人式など）や文集、広報などを展示し、自分の写真を見つけて昔を思い出していったようでした。また、ロビーでは、合併に伴う相談コーナーや村旗への寄せ書きなどが行われました。

式典では、村長のあいさつに続き  
村政功労者として全村民を表彰  
し、村民代表として老人クラブ連

合会長の永瀬幸夫さんに賞状が手渡されました。

閉村式を記念して行なわれたアトラクションでは、保育園児のエイサー、金山太鼓若鼓衆による演奏、踊り隊「風」によるソーラン節、花笠音頭が披露され昼食時には、カ梅ルーンキャンプの模様を振り返るビデオが上映され、当時の様子を懐かしそうに見ていました。閉村記念コンサートでは、毎年夏の恒例行事となっている中津江ミュージックフェスティバルに出演している加川良さんが歌を披露しました。

最後は、参加者全員で中津江音頭を踊り式典総ての行事を締めくくりました。

式典の模様は、次のページです。



感謝状がわりに寄書き贈呈しました。



小中学校生徒による発表



村民みんなの卒業証書です。



雪が残る中での植樹、ご苦労様でした。



## 保育園児による「エイサー」



園児みんなからのメッセージです。



## 金山太鼓若鼓衆による演奏



### 踊り隊「風」による花笠踊り



加川良さんの閉村記念コンサート



各家庭の自慢料理で大賑わい！

## \* なかつえ保育園生活発表会\*



一月五日（土）、村民ホールにおいて、なかつえ保育園の生活発表会が行なわれました。保育園で一年間習ってきた鼓笛の演奏、英会話、演劇などが発表されました。

当日は、多くの保護者も集まり我が子の晴れ姿をカメラやビデオなどに納めていました。

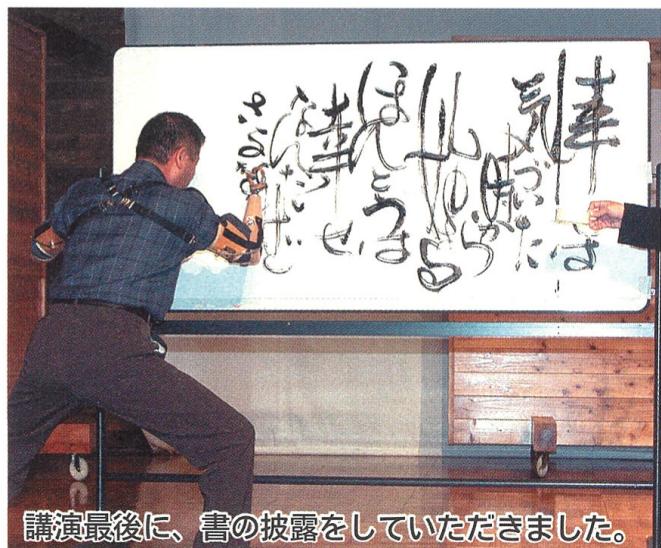


## \* 公民館まつり\*

一月六日（日）、村民ホールにおいて、中津江村公民館まつりが行なわれました。

各地区や公民館などで行なわれている講座の発表ということもあり当日は、多くの村民の方が各団体の発表を観覧していました。

エントランスでは、フラワーアレンジメントやパソコン教室などの作品展示が行なわれ、来場者が足を止め作品を見ていました。また、お昼に用意された男の料理教室の豚汁は、参加者みなに配られ好評でした。



## \* なかつえ福祉のつどい\*

一月二十七日（日）、村民ホールにおいて、第十回なかつえ福祉のつどいが開催されました。

当日は、社会福祉功労者表彰や講演会が行なわれ、村内より多くの方が出席しました。

表彰では、これまで社会福祉に功労のあった方に感謝状が送られました。

続いて行なわれた講演会では、大野勝彦さん（熊本県在住）を講師に迎え、「ふりむけば母の愛が」と題した講演が行なわれました。

# ルースのニュース

## アドービハウス

中津江村での滞在はもう8ヶ月になります。ミュージカル・フィスティバル、保育園の夏祭り、丸蔵の祭り、金山祭り、ふるさと祭り、保育園生活発表会、新春公民館祭り、保育園童謡コンサートなどに参加出来てとても楽しかったです。

エイミーとシャーナがずっと保育園に通っていて、日本語で話せるようになり、友達を作り、保育園生活を楽しんでいます。

中津江村にもっと長くいられればいいと思っていますが、ニュージーランドに帰って自分の家を建てるつもりです。なぜならば、ニュージーランドでは自分で自分の家を建ててはいけない新しい法律がもうすぐ"に有効になるので、早く帰って許可をもらわないと、予定通りに自分の家が建てられなくなるからです。

主人がこの8ヶ月間、家に閉じこもってインターネットで家の作り方の研究をしたり設計書を一生懸命に書いたりしていました。人の生涯の中で家を建てるということは、環境に一番大きい影響を及ぼす行動でしょう。だから、出来るだけ環境に負担が少ないように作りたいと思っています。アドービ（日干し煉瓦又は天日瓦）で小さい家（96m<sup>2</sup>）を作ります。粘土と砂を濡らして足で踏んでよく混ぜます。そして、型に詰め込んでから型を取ってしばらく乾かしておきます。そして、泥のモルタルで煉瓦みたいに積んでいきます。家は細長くて、長い北向きの壁が表になります。（ニュージーランドは南半球なので、太陽は北側に回りますよ。）そうすると、冬でも家全体が一日中陽に当たります。夏の暑さを防ぐために軒を幅広く作りますが、冬になると太陽の角度は低いので、軒の下を照らして奥まで陽が入ります。屋根にはソーラー・パネル（太陽光発電モジュール）を付け、夜や曇りの日のために風力発電機も付けます。他にもソーラー・ウォーター・ヒーターとバイオ・トイレを入れます。雨水はタンクで貯めて、汚水は浄化槽システムを通して庭に流せるよう設計しています。

アドービやコンクリートで作られた家が太陽向きであれば PASSIVE SOLAR というデザインです。つまり、PASSIVE は動くところがなく SOLAR は太陽を使うことです。つまり、太陽熱効率が高いということです。一日中太陽からコンクリートや日干し煉瓦が太陽熱を受けて、冷えると熱が寒い方に抜けていきます。家の中に日干し煉瓦の壁やコンクリートの床があると、家の中が冷えると熱が家の中に抜けていきます。もちろん触ってもあつくないけれども、家全体の気温変化が少くなり住みやすいです。

日本の伝統的な建築は、自然材料の使い方が上手なところが好きです。インテリア・デザインにはアドービの土壁と日本のふすまと障子が合うと思うので、ふすまと障子の紙などを買いました。

最近まで日本の家も竹編みの土壁で作られました。現在は環境や住んでいる人の健康にやさしいので、自然材料として土壁を使う建築会社はいくつかあります。興味がある方はインターネットで「土壁」で検索し調べてください。

一番寒い時期が過ぎて家族もすっかり慣れてきているので、帰国するまでの4ヶ月を最後まで多くのことを経験したいと思っています。桜祭りや夏キャンプなど、まだ中津江村で体験していない季節やイベントを楽しみにしています。



国際交流員  
ルース・クラークさん

パシーブ ソーラー

パシーブ

ソーラー

# お知らせ掲示板

## 保健所の一般健康相談（健康診断）の廃止について

保健所で行なっていました一般健康相談（健康診断）・事業所検診は、平成17年4月1日から廃止することになりました。健康診断は、一般の医療機関や健診機関をご利用ください。

なお、保健所では今後も精神疾患や認知症（痴呆症）、引きこもり等の相談、不妊や発達に心配のある子どもの相談等の専門的な健康相談は、行なっていますので気軽にご相談ください。

【問合せ先】大分県日田玖珠保健所 総務課（電話 23-3133）

## 無料パソコン技術講習会の開催について

講習機関 平成 17 年 5 月 19 日(木) ~ 6 月 22 日(水) 10:00~16:00(土・日・祝日を除く)

**講習会場** 大分県日田総合庁舎 4 階研修室（日田市城町 1-1-10）

**対象者** 就職を希望する女性で、原則として全日程出席できる方

## 講習内容 パソコン表計算（エクセル）

※最終日に検定試験に合格すれば職能パソコン3級の認定を受けられます。

受講料 無 料

※ただしテキスト代・検定料等の実費 6,200 円（多少変更の場合あり）のみ自己負担

## 申込方法

申込み受付及び受講者選定のための面接と簡単な筆記試験を実施する。

【問合せ先】大分県日田地方振興局 労政係（電話 23-2673）

「ヤングネットワーク・ウィング九州 2005」参加者募集

～アジアは友だち、エールを交わそう、未来を語ろう！～

九州・沖縄各県の青年とともに韓国・中国を訪問し、両国青年との交流・交歓や実情参観を通じ、国際的視野と友情の輪を広げます。研修終了後は、経験をいかし、各地域でボランティアや地域おこしなど様々な活動を行ないます。

**募集人員** 28名（県内在住の20～29歳男女）

**募集期間** 4月1日（金）～5月10日（火）まで

**本研修** 8月20日(土)～28日〔訪問先：ソウル、北京、西安〕

〔内容〕 ホームステイ、テーマ別研修（歴史・福祉・教育等）、両国青年との交流・交歓、北京市内ウォーキング、万里の長城・兵馬俑坑等の参観など

(このほか事前・事後研修があります。)

**負担金** 73,000円（パスポート取得・県内研修参加等の別途経費必要です）

【申込み・問合せ先】大分県生活環境部青少年・学事課（電話 097-536-1111 [内線 3075]）

ホームページ <http://www.ynw-kyushu.org>

※「御寄付お礼」および「慶弔」につきましては、一月末日までに受付・確定済の方を掲載しています。

岩下大吉様  
(享年九十一歳)

慶弔

◆ 中津江小学校へ  
　　〈見舞い・香典返し〉  
◆ 原谷良江様  
　　原部公民館へ  
　　〈香典返し〉  
◆ 中川内公民館へ  
　　〈香典返し〉  
◆ 市ノ瀬公民館へ  
　　石川國弘様  
　　坂井ツタエ様  
　　〈見舞返し〉

御寄付お礼

## 青年国際交流事業に参加してみませんか

- 内閣府では、将来を担う国際感覚豊かな青年を育成するため、様々な国際交流事業を実施しています。
- 現在、平成17年度の「国際青年育成交流」「日中、日韓青年親善国際交流」「世界青年の船」「東南アジア青年の船」事業の参加青年を募集しています。
- お問合せは、内閣府青年国際交流担当（電話 03-3581-1181）または、大分県青少年・学事課（電話 097-536-1111）まで
- ホームページ <http://www8.cao.go.jp/youth/boysu.html>

## 雇用保険率が改正されます

平成17年4月1日から雇用保険率が次のとおり1,000分の2引き上げられます。

事業の種類	保険率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	19.5/1000	11.5/1000	8/1000
農林水産 清酒製造の事業	21.5/1000	12.5/1000	9/1000
建設の事業	22.5/1000	13.5/1000	9/1000

また、一般保険料額表は廃止され、賃金総額に保険率を乗じて得た額が被保険者の負担額となります。（1円未満切捨て）

なお、平成17年度の労働保険（労働保険と雇用保険）の年度更新手続きは、4月1日から5月20日までとなっています。

労働保険料及び労働保険の申告・納付についてのお問合せは、

**大分労働局総務部労働保険徴収室（097-536-7095）**まで。

## 役場内 農協窓口の閉鎖について

3月18日（金）をもって中津江村役場内の農協窓口が閉鎖します。

今後、電気料や電話料などの支払についてはJA大分ひた農協本所で取り扱います。なお、役場（4月からは、市役所）が発行する税金や国民健康保険料などの取扱は、役場（4月からは、振興局）の各担当課において納付することができます。

## 平成16年中の火災・救急の概要

### 1. 火災の概要

日田玖珠広域消防本部管内の十六年中の火災発生件数は35件で、昨年より11件の減少となっています。（大山町1件、前津江村0件、中津江村0件、上津江村0件）

火災種類でみると、建物火災27件、野火災5件、車両火災1件、その他火災2件となっています。

火災原因別では、コンロ、ストーブが5件と同数であり、次にたき火が3件となっています。

### 2. 救急の概要

救急出場件数は、3,259件（大山町103件、前津江村20件、中津江村33件、上津江村30件）搬送人員は、3,182人となっています。前年に比べ件数で112件、搬送人員で169人の減少となっています。これは、1日平均9件の割合で出場し、圏域住民の33人に1人が救急車を利用したことになります。

救急種別でみると、最も多いのが急病で1,525件、以下転院搬送、交通事故、一般負傷となっています。

**【日田消防署大山出張所 電話 52-2268】**

## 勤労青少年ホーム教室・クラブ受講生募集

4月からの新規受講生を募集します。

◎受講資格…市内で働いている青少年・壮年男女

◎募集期間…3月26日(土)までの日曜・祝祭日を除く午前9時～午後9時まで

※定員に満たない場合は、随時受付

◎申込先…教室・クラブの会費2ヶ月分と連絡会費2,500円(傷害保険料含む)をお持ちのうえ、勤労青少年ホームへお越しください。

教室名	開講日	会 費	定 員
華道教室	毎月第2・4水曜日	2,500円	20名
料理教室	毎月第2・4月曜日	2,000円	15名
エアロビクスA	毎週金曜日(月4回)	2,000円	20名
エアロビクスB	毎週水曜日(月4回)	2,000円	20名
硬式テニス	毎週火曜日・金曜日	1,000円	30名
バドミントン	毎週火曜日、第1・3月曜日	必要に応じて徴収	30名
ソフトバレー・ミニバレー	毎週土曜日	必要に応じて徴収	30名
バスケットボール	毎週水曜日、第2・4月曜日	必要に応じて徴収	30名
卓 球	毎週月曜・木曜日	必要に応じて徴収	20名

市立勤労青少年ホーム〔電話 23-3835〕

## 咸宜大学講座受講生募集

平成17年度咸宜大学講座の受講生を募集します。

◎学習期間 平成17年4月～平成18年3月までの1年間(毎月1回開講)

◎開催場所 日田市中央公民館

◎募集対象 65歳以上の方 150名程度

◎受講料 年額2,500円

◎申込方法 受講料持参のうえ、各市町村中央公民館にて手続きをお願い致します。

◎申込締切 4月1日(金)まで

※毎月の講座のほかに、短歌、俳句、俳画、謡曲、健康、合唱、歌謡、パソコンクラブに入講することができます。(別途受講料が必要です。)また、日帰りや一泊の研修旅行もあります。

【問合せ先】 日田市中央公民館(電話 22-6868)

## 固定資産税の縦覧について

平成17年度の固定資産税の縦覧を、次のように行ないます。

◎縦覧期間…4月1日(金)～5月31日(火)

(8:30～17:00(土・日曜日及び祝祭日を除く))

◎縦覧場所…中津江村役場(合併後の中津江振興局)及び日田市役所税務課

◎縦覧対象…土地価格等縦覧帳簿・家屋価格等縦覧帳簿

◎縦覧できる方…固定資産税の納税者(同居親族を含む)、又は代理の方(委任状が必要です)

◎手数料…無料

◎持参するもの…本人確認ができるもの(免許証、保険証など)、本人でない場合は委任状

※納税義務者は、これまでどおり名寄帳(固定資産課税台帳)を閲覧することができます。

(縦覧期間中の閲覧は無料です。)

なお、平成17年度の名寄帳は、合併前の市町村ごとの納税義務者で作成されます。

【問合せ】 中津江村役場税務課(電話 54-3111)

# 第58回 日田川開き観光祭

5/21(土)・5/22(日)



## お祭り芸能隊募集

観光祭の華、市民芸能隊の出場団体（踊る人が十名以上）を募集します。参加者は、市内、市外を問いません。  
どんたく大賞をはじめ、課題曲の部（詳細は、まつり事務局へお問合せください）を新たに設け多彩な賞を用意しています。

### △申込期限：四月十四日（木）

### △参加者説明会

△と き 四月二十一日（金）

△と こ ろ 市役所七階中会議室  
午後七時三十分～

### △選考会について

選考会は、四月十五日（金）に行ないます。時間・会場等詳しくは、直接本人に連絡します。



## 天領日田の観光キャンペーンレディー募集

私たちの町「日田市」を幅広くPRする、活気ある女性を募集します。

性で、一年間（年十五日程度）観光宣伝等のキャンペーンレディーとして、

各種イベントに参加いただける方

### △募集人数：二名

### △選考方法 面接で決定

※一般公開は、行いません。

### △副賞 旅行券（十万円相当）、制服、トロフィー等

### △申込方法 事務局に電話で申込み

※申込み時に、住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先、勤務先電話番号、趣味、特技をお伺いいたします。また、推薦する場合には、必ず本人の承諾を得てから、推薦者の氏名、連絡先をお知らせください。

### △申込期限 四月七日（木）

### 【問合せ・申込先】

日田まつり振興会事務局

（市観光課内）

電話 二二一八二一〇  
(市役所三階)

## 花火大会スポンサー募集

花火大会のスポンサーを募集しています。あなたもスポンサーになってみませんか。

### △花火スポンサー料

### △打ち上げ花火

＝二万円（一口）×五口以上

※打ち上げ花火は、おおむね五口を一ブロックとして打ち上げます。

### △申込期限 四月八日（金）

# 若い世代のご家庭へお知らせ

これまで母子の事業については、住民課だよりや個別通知などでお知らせしてきましたが、今後は、市報の「健康チェック」のページでのお知らせに一本化されますので、十分ご確認ください。



4月の母子関係のお知らせは、以下のようになっています。

項目	とき(受付時間)	ところ	内容その他
母子健康手帳交付	随時 (電話予約が必要)	現中津江村役場 相談室	妊娠がわかったら母子健康手帳の交付を受けましょう。 ◇持参するもの…筆記用具、妊娠届出書。 *4月18日に交付を希望される方は、歯ブラシを持参の上おいでください。お母さん教室も同時開催です。
	4月4日(月) (9:30~11:30)	日田市役所2階 保険相談室	
	4月18日(月) (9:30~9:45)	日田市役所7階 大會議室	
乳幼児相談	4月22日(金) (10:00~12:00)	現上津江保険センター	◇内容…身体計測や子育ての悩みなど育児相談です。 ◇持参するもの…母子健康手帳。
	4月27日(水) (9:30~10:30)	日田市児童館	

☆子どもの健診(4か月児、7ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児)も毎月行っていますが、4月は中津江に対象年齢・月齢のお子さんがいませんので、今回は省略しています。

☆予防接種や乳幼児医療費等については、対象児のいるご家庭に個別通知いたします。

住民課 保健師 電話 54-3111

# 国民年金からのお得な情報

早割

**4月から新登場♪平割**(口座振替割引制度)  
保険料を当月末の振替にすると…

40円割引！

[早割ってなに?]通常の口座振替の振替日は翌月末ですが、届出により当月末振替に変更すると月40円の割引があります。

初回分のみ2ヶ月分振替させていただきます。

### 一、新規の申込み

「国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書」に必要事項を記入のうえ、手続きをお済ませください。

#### ・変更の申込み(振替方法の変更)

既に口座振替をされている方も「国民年金保険料口座振替納付(変更)申出書」の届出が必要となります。

※早割を希望する場合は、由出書の右全白に「**4 早割**」とご記入ください。

手書きは替替希望の前月中旬までに手書きをお達せください。(4月から希望される場合は、3月中旬まで)

【問合せ先】大分社会保障事務局日田事務所(電話 22-6174)

昭和三十六年に広報なかつえい（当時は「中津江村報」でした）の第一号が発刊され、今回で四十四年の歴史に幕を下ろすこととなりました。

「広報ひた」へとバトンタッチすることになりますが、中津江村の情報も掲載されることとなつてしますので、「広報なかつえ」同様よろしくお願ひ致します。

最後に、これまで広報を作成するにあたり、取材・執筆などご協力いただいた多くの方にお礼を申し上げます。

長い間、「広報なかつえ」をご愛読いただき誠にありがとうございました。

編集後記